

「多面的機能支払」に携わる活動組織及び土地改良区の担当者との意見交換

- 1 日 時 平成28年12月1日(木)13:30～
- 2 場 所 熊本県土地改良事業団体連合会3階会議室
- 3 出席者 活動組織10団体、土地改良区(活動組織構成員)29団体
- 4 概 要 (主な意見)

(1)地震・豪雨により被災した農地・農業用施設の復旧に関して

- 多面的機能支払の交付金では復旧費が不足したことから、土地改良区が費用を負担している。そのため、市へ補助金を要望する予定。【宇土八水土改区】
- 多面的機能支払は通常行う農地・農業用施設の維持管理のための予算であり、地震被災の用水路を復旧したことから予算が不足している。上乘せの予算割当をお願いしたい。【阿蘇土改区】
- 災害復旧事業の対象とならぬ40万円未満の小規模被災箇所の復旧に多面的機能支払が役立った。【緑川南部土改区】、【熊本西部保全隊】ほか
- 豪雨被災により水路に土砂が堆積し、その土砂を人力(延べ450名)で取り除いたが、多面的機能支払が役立った。【美里土改区】
- 今回の被害復旧に当たり、市、土地改良区、多面的支払活動組織との役割分担(実施箇所のすみ分け)を明確にして取り組んだ【小川土改区】
- 被害状況の確認にも多面的機能支払を活用した【熊本西部保全隊】
- 今回の地震等を契機に災害発生時のシュミレーションを考えるようになった。【百太郎溝土改区】

(2)景観形成、生態系・水質保全などの特徴的な取組みに関して

- 遊休農地に“シバザクラ”を植栽し景観形成に努めている。【内田川土改区】
- 老人会、婦人会、子供会と手分け(分担)して花植えを行っている。【植木町土改区】、【宇土八水土改区】ほか
- 小学生への農業体験、生き物調査、外来種の啓発などを実施している【馬場楠土改区】、【菊池市土改区】
- 水質保全のために排水路にEM菌を投入している。【画図土改区】、【天明環境保全隊】ほか
- 渡り鳥、野鳥の保護にも活用を検討している。【阿蘇土改区】、【八代平野】

(3)通常取組みにおける非農家の参加に関して

- 地域住民を巻き込んで清掃活動等に取り組んでいる。【西里環境保全隊】、【美里土改区】
- ホテルの生態系や水質保全などに地域住民も参加し実施している。【川上環境保全隊】、【美里土改区】

○20 集落による広域組織として活動に取り組んでいるが、集落によって活動に温度差がみられる。また、非農家の呼び込みに苦慮している。【富合地区環境保全】

○団地敷地内を通過する用水路を団地住民と一緒に清掃に取り組むようになったが、団地住民からは住民同士がお互い知りあいになり良かったとの声がある。【熊本西部環境保全隊】

(4) 取り組みの地域住民等への啓発に関して

○広報誌を作成し配布している。【錦町土改区】

○啓発を進めるに当たり、次の様な提案があった。

① 広報誌の作成・配布、看板の設置、活動時にのぼり旗を設置

② 老人会、子供会など積極的に参加を呼びかけ活動を知ってもらう。

③ 有識者からの情報発信

④ 口コミ

(5) その他

○長大法面の草刈りの作業軽減を図るために、法面に小段を設けた。【錦町土改区】

○組織の広域化はできたものの、予算配分、活動は旧態依然のままである。【植木町土改区】

○活動ができない集落を助けるため、環境保全隊を立ち上げた。【飽田広域協定】

○H19 年度から取り組みを開始し活動に対する意欲の低下やマンネリ化がみられる。【画図土改区】、【阿蘇土改区】

○交付金の交付時期が遅い。【宇土八水土改区】、【八代平野土改区】ほか